

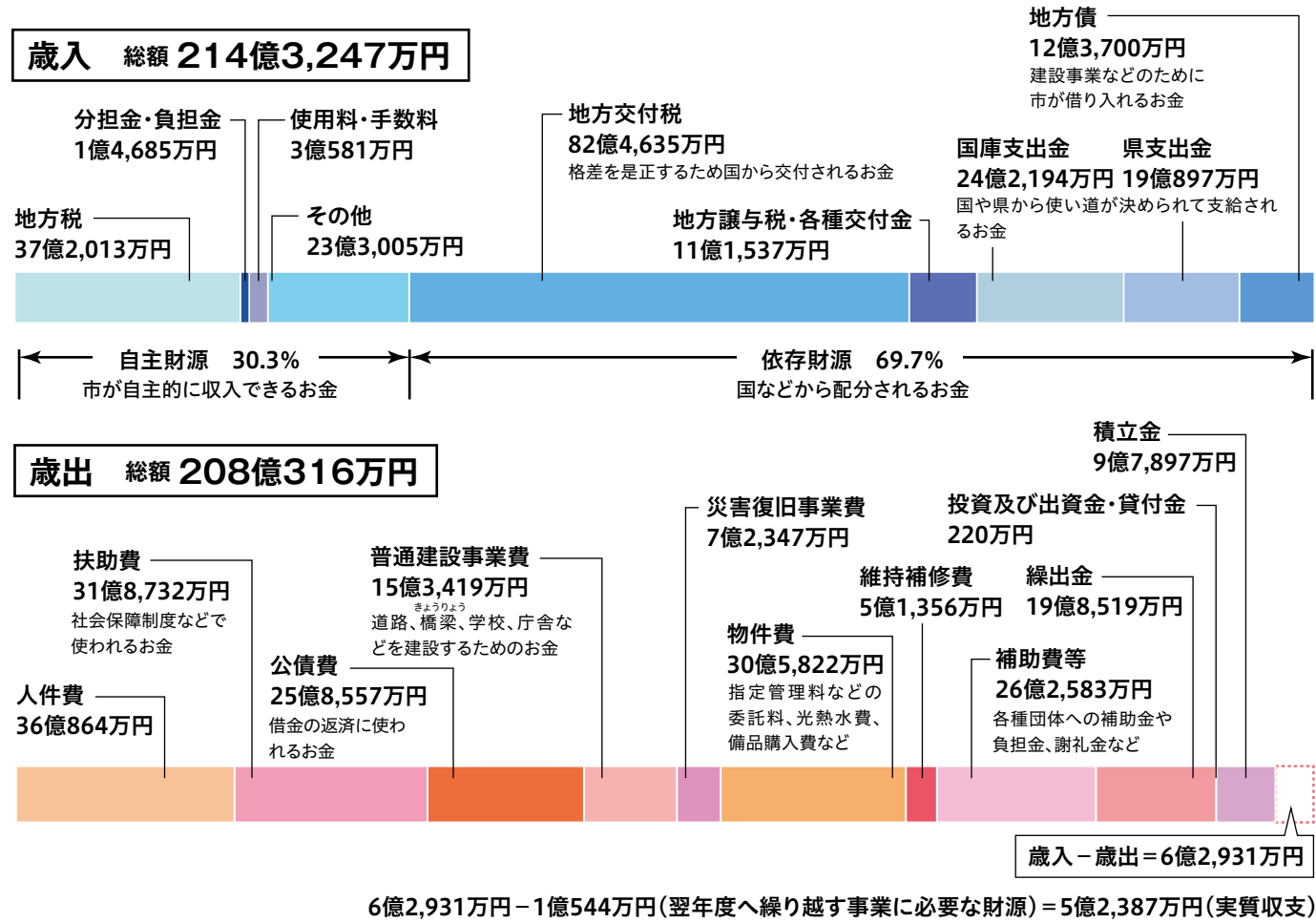
2023年度 決算報告

決算の詳細はこちらで確認できます。
令和5年度決算の状況▶



普通会計

総務省の定める基準で各地方公共団体の会計を统一的に再構成し、地方公共団体間の比較などするための会計区分です。当市では、一般会計とコミュニティ・プラント整備事業特別会計が該当します。



特別会計

保険料など特定の収入があり、一般会計とは切り離して収入・支出を経理する特定の目的のための会計

会計名	歳入	歳出	実質収支
国民健康保険特別会計	30億4,393万円	29億9,414万円	4,979万円
後期高齢者医療特別会計	5億480万円	4億9,350万円	1,130万円
介護保険特別会計	46億6,677万円	44億1,524万円	2億5,153万円
農業集落排水事業特別会計	4億8,789万円	4億2,518万円	6,119万円
浄化槽整備事業特別会計	3億4,866万円	3億3,597万円	1,269万円
コミュニティ・プラント整備事業特別会計	413万円	411万円	2万円

●実質収支

歳入から歳出と翌年度に繰り越すべき財源を引いたもの

公営企業会計

主に利用者の料金収入で事業を行う、地方公営企業法の全部、または一部の適用を受ける公営企業の会計

会計名	区分	収入	支出
下水道事業会計	収益的	7億8,752万円	6億8,123万円
	資本的	2億2,866万円	4億2,038万円

※消費税および地方消費税を含みます。
※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は留保資金などで補てんしました。
※水道事業は2023年4月1日から広島県と14の市町で広島県水道広域連合企業団を設立しました。

●収益的収入・支出

一事業年度の企業の経営に伴い発生する収益(料金など)や、費用(人件費や物件費など)

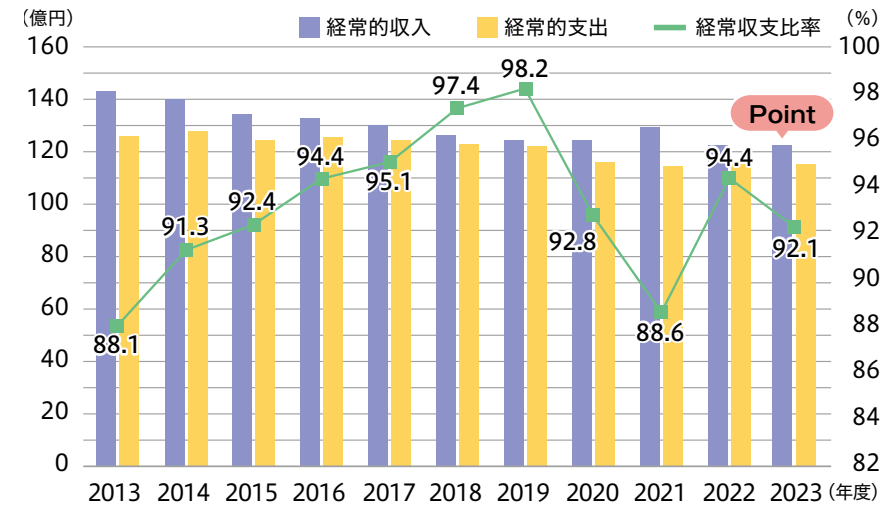
●資本的収入・支出

企業の将来の経営に備えて行う施設の建設などの費用(工事請負費など)や、その財産となる収入(企業債など)

普通会計ピックアップ解説

経常収支比率

地方税、地方交付税などの経常的な財源が、どの程度経常的な経費に充てられているかを示す指標です。数値が低いほど、政策的(自由)に使えるお金が多くなることを示します。

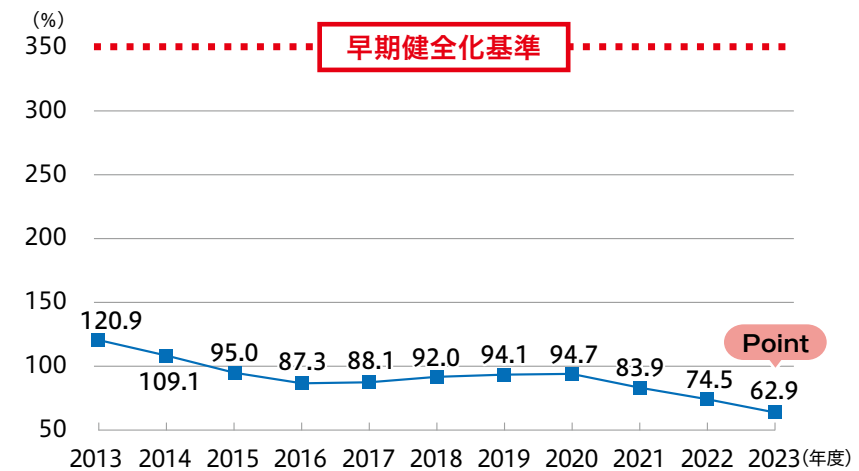


Point

2023年度は92.1%となり、2022年度よりも改善しました。
法人市民税や固定資産税などの経常的な収入が増加したこと、合併当時の大型事業に係る公債費の減少や指定管理料の削減による物件費の減少により経常的な歳出が減少したことが要因です。

将来負担比率

財政規模に対して将来負担しなければならない費用がどの程度か、将来財政を圧迫する危険度を示す指標です。比率が高いと将来の財政負担要因が大きいことを示します。



Point

2023年度は62.9%となり、2022年度よりも改善しました。合併後、最も低い数値です。合併当時の大型事業に係る地方債の償還完了や、新たな地方債の発行を抑制したことにより、地方債残高が減少したことなどが要因です。
今後も地方債残高の増加を抑制して行けば、将来負担比率も低くなります。

●早期健全化基準

地方公共団体の財政の健全化に関する法律で定められた財政上問題がある基準

各種指標が改善傾向に

2023年度の決算では経常収支比率をはじめとする各種指標が改善しました。市の貯金である財政調整基金も約11億円まで回復しました。これまでの財政健全化の取り組みが少しずつ前に進んでいると評価しています。2023年度に「公共施設の廃止スケジュール」を見直したことで、2034年度までに更新費用や維持管理費用を大幅に圧縮できる見込みです。今後も計画的で持続可能な財政運営を目指します。

財政局 財政係 ☎お太助フォン 42-5623